武　一　中

令和８年１月30日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R7－18号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

「あれを思えば」の感想

校　長　　中嶋　建一郎

1/26 朝礼の話の感想を 50 人が書いてくれました。ありがとうございました。考えを共有しましょう。自分の「あれを思えば」を紹介してくれた人もいます。

○元気が出る話でした。ちょうどこの時期にこのような話を聞けて良かったです。

●私も、小学校の時の人間関係のトラブルにまつわるストレスを思うと、今のストレスはなんてことないなと思うときがあります。でも、無理せず色々と頑張っていきたいです。

○確かに今は受験勉強で辛いと感じることが多いが、いつか「あの時と比べたら、、、」と思えるように、自分で納得できるくらいに努力したいと思った。

●自分の体験をもう使わないものだと思わずにそのときのことを思い出して自分を奮い立たせることができるとわかった。

○思うだけで辛さを忘れられることってありますよね。

●寒いと辛いが同じようだと聞いて確かにな、と思った。この寒さや辛さを乗り越えてこそ温かい日が待っていると思えるととても頑張れる。

○私もよくつらいときに「あの時のことを思えば今なんてへっちゃらだ」と考えるので、同じ考えをしている人に少し親近感が湧きました。今日のお話で、これからもこの考え方を続けていこうと思いました。

●辛いこともいつかは春が来るように楽しいことが訪れるという言葉が印象的でした。私も今は追いこみ時ですが、高校生になってキラキラの生活を送る姿を想像して頑張りたいです！！

○私もテスト勉強などがとても辛かったし、先生に怒られたことや持久走でずっと走ったことなど辛いことは多々あったものの、それも将来「このときのほうが辛かった」と思って乗り越えられることがあると思うから、辛い経験をたくさんして成長していきたいと思った。

●私もよく、何かしら我慢したり緊張するときにあの時よりはまだ耐えられると自分を鼓舞してうまく乗り切っています。その度また経験を積めるため成長を感じることができると思っています。

○受験がどんどん近づいてきて、焦りや辛さから誘惑に負けてしまいそうになるときがある。けれど、今まで辛かったことを思い出したり、これからのことを考えればそんなに大変なことではないと思うので、残りわずかな貴重な時間を有効に使うことができるようにしたい。

●今やってる受験勉強は今まで生きてきた中で一番つらいものだ。しかし、この辛さを今後のことに活かし、もしこれから辛いことがあってもこのことを思い出して「受験期よりはましか」と考えようと思う。

○辛いときにはもっと辛かったことを思い出す。というのはよく聞く話で、親にも聞いたときに「高校での出来事や受験勉強が辛かったから、今の仕事を頑張れる。」と言っていた。また、好きなアニメでも「自分の思い出以上に辛いこと怖いことが起こることはない。」と言っていた。だから、自分は親からガチギレされたとき以上に怖くて辛いことはないということを思い出そうと思う。

●僕は、今のところは「これを思えばこんなん楽勝じゃん」という思い出はありませんが、高校になったらできるのかと思うと、すこし緊張します。

○今日の話に共感していて私にも、「あの時よりかは辛くない」と思えることがあります。それは小学生の頃の吹奏楽の練習で、あのときは毎日練習に行くのが嫌で悪夢を見て、先生を見ると体温が下がって腹痛が始まるほどでした。しかし、その経験があったからこそ今は頑張れていると思います。あと少し、走り抜けたいなと思っています！！

●何か辛い経験をしとこうと思いました。

○辛いことも寒いのと同じようにいつかは終わる、春が来るという言葉が一番印象に残りました。来年受験生で辛いこともあるけどいつかは終わるのでそれまで頑張りたいと思いました。

●大変だな、辛いなと思ったことでも、未来の自分はそう思わなくなっていることを信じ、耐性をつけていろいろな物事を乗り越えていきたい。

○辛いことがあっても、その先に希望が見えることを信じて頑張りたいと思うことができました。大変なことがあっても、「あれを思えば大変じゃないな」と思えることを探したいと思います。

●私も持久走がとても苦手で、いつもやりたくないなと思っています。ですが、今日のお話を聞いて、この経験もいつか糧となる日が来るのかなと思いました。

○私も走ることが苦手なので、共感して聞くことができました。苦手なものとの付き合い方を考える良い機会となりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

※「あれを思えば」は、辛かった思い、負の感情の再利用のようなことですね。どんなことでも自分に役立つように考えたり、捉えたりできると良いと思いますよ。それから、プラスの方のこともあって、プロの技や本物を見ておいたり、これは面白いというものに出会ったりしておくと「これはまだまだだな」というのが分かることになります。こちらも自分の幅を広げることのひとつです。